

私事を書いて恐縮ですが、我家の恒例行事に親子三代兄弟、従兄弟達と友人達で秋元家ゴルフコンペを正月、5月、8月に行っております。

今年も5月3日に市内のゴルフ場で行われ、いつも道路の渋滞に泣かされるので今年は早めに出かけましたところ、今年は道路もゴルフ場もガラ空き状態でありました。帰りこそ大混雑と思った道路は例年の3分の1の渋滞で如何に房総への観光客が激減しているかを感じて帰りました。

翌々日の5月5日は遠縁の孫達(5歳、6歳の女の子、10歳の男の子)を誘って房総路を走ってみました。「何を見たい? 食べたいものは何?」と聞くと「羊さん、ザリガニ、オタマジャクシ、川遊び」と意外にも大変難しい返事が返って来ました。

そこで清和栗倉から富津関戸を左折して最初に高宕山の自然動物園へと入りました。孫達は160匹と言われる猿の群れに一瞬驚いておりましたが、同行の若いババが買って来たサツマイモを角切りにした餌を用心深く投げておりましたがやがてすぐに慣れ、猿に手渡しするようになりました。するとアツと言う間に餌はなくなり、若いババを何度も餌買いに走らせて猿の自然動物園は大成功でした。

しばらく先へ行くと右手の山の上に鮮やかなオレンジ色の牧舎の屋根が見え、矢印に「富山ふれあい牧場」とありました。すると牧場の方が出て来て「ここは観光牧場ではありませんがどうぞ案内しますから、遊んで行って下さい」と極めて好意的に牧場中を案内してくれました。孫達に牛の好物の餌や草を持って来て、牛に食べさせる方法を教えて下さり、何十頭の牛が集まって来て牛達とすっかり仲良しになって大はしゃぎでした。孫達よりも案内して下さった牧童のおじさんの方が楽しい笑顔でいっぱいでした。

山を下って三芳村鄙の里で大人は筍飯、孫達は顔より大きなバーガーで軽い昼食となり、三芳名物の植松さんのトマト、みかんを買い込んで土産物とする。次に目指した正林寺の池は、生憎旧知の和尚が留守でしたが、30年来の勝手知った寺ですから池へ廻って見ると「いた!! いた!!」オタマジャクシの大群団を発見し孫達は歓声を上げてくれました。ここも大成功でした。

次はザリガニと川遊びと探して酪農の里へと辿り着きました。

嶺岡山中から流れ出す浅い溪流は孫達にとっては安全な格好の川遊びの場でした。ところが、孫達は想像しなかった遥か上流まで登って行くので私は途中棄権して待つ事にしました。

帰り路、清和のゆめ牧場のポニーとのふれあいを見た時、君津の観光に景観、食べ物に沢山あるが川と魚、野原と牛や山羊を、害となっている山のイノシシ、猿を生かす良い知恵がまたれます。

私は昔、海の簀立業をしておりましたので、休耕田に鯉や鮒やザリガニ等を養殖して親子家族で泥んこになって遊べる場があったら・・・と思いました。素足で大自然とのふれあいを人々が求め始めている小さな孫達との小さな旅でした。

明日は「久留里の鄙の端午」へ参ります。どうぞ期待であります。